

盛岡公務員法律専門学校 成績評価の方法と基準

【科目別評価点の算出方法】

科目別評価点の算出においては、各科目の特性に応じてあらかじめ設定した評価項目（以下の7項目より選定）と評価割合を用いて求めることとする。

【科目別評価点と評価の対応表】

科目別評価点	科目別評価
3.6~4	秀
2.6~3.5	優
1.6~2.5	良
1~1.5	可

【評価項目】

	秀（4）	優（3）	良（2）	可（1）	不可（0）
1 定期試験得点率	90~100%	80~89%	70~79%	60~69%	60%未満 →追試※
2 小テスト平均得点率	90~100%	80~89%	70~79%	60~69%	60%未満
3 出席率	100%	95~99%	86~94%	80~85%	80%未満

※追試で得点率が60%以上であれば、何点であっても「可（1）」とする

※追試で得点率が60%未満の場合、原則は「不可（0）」評価とする（但し、課題提出等に対応する場合がある）

4 検定試験（当該授業における目標試験について適用し、任意で受験した上位試験の可否については試験の難易度に応じて都度判断する）

	秀（4）	優（3）	良（2）	可（1）	不可（0）
検定試験結果（A）	合格の上位2割	合格の中間5割	合格の下位3割	不合格	正当な理由なく未受験
検定試験結果（B）	得点率で上位の2割	得点率で中間の4割	得点率で下位の4割	不合格	正当な理由なく未受験
検定試験結果（C）	合格の上位1割	合格	不合格の上位4割	不合格の下位6割	正当な理由なく未受験

5 課題の提出・内容評価

	秀（4）	優（3）	良（2）	可（1）	不可（0）
レポート	「優」の評価に加え、物事を客観的に捉え考察がなされており、説得力がある内容になっている。	「良」の評価に加え、今後に向けてどう取り組んでいくかなどが適切な書かれた内容になっている。	テーマに即した内容であり、指定された分量の8割以上を満たしている。	ある程度テーマに沿った内容にはなっているが、一部逸脱した部分が見られる。または、指定された分量の8割を満たしていない。	テーマから逸脱している。または、指定された分量を明らかに満たしていない。
提出物	「優」の評価に加え、自分自身の参考書として活用することができる内容になっている。	「良」の評価に加え、大事な部分は色を変え必要な情報を記入するなど、意欲的に取り組んだ成果が見られる。	類似した問題が出題された際に見直すことができる精度であり、引き続き活用することができる。	指定期日までに提出されたが、今後見直すことがない精度であり提出することのみを目的としている。	指定期日までに提出されていない。

6 受講態度

	秀（4）	優（3）	良（2）	可（1）	不可（0）
講義型授業	「優」評価に加え、講師の説明で気になったことを的確な質問をするなど、授業の精度を高めることに貢献している。	「良」評価に加え、講師の説明を頷きながら聞き、積極的に授業に臨んでいる様子が見られる。	講師の話聞き、板書するなどして授業内容の理解に努めている様子が見られる。	板書もせず授業に集中していない様子が見られる。（他者に迷惑をかける行為とは言いえない）	居眠りや私語など、他者に迷惑をかける不適切な行為が見られる。
演習型授業	「優」の評価に加え、分からなくて困っているクラスメイトに教えてあげる等、他者貢献の姿勢が見られる。	「良」の評価に加え、授業で習った以外の方法・解法も試す等、向上心の高さがうかがえる。	自身の演習課題に真摯に取り組む、スキル向上に努めている様子が見られる。	他者に迷惑を掛ける行為はないが、自身の演習課題に取り組まないことがある。	居眠りや私語など、他者に迷惑をかける不適切な行為が見られる。

7 発表会

	秀（4）	優（3）	良（2）	可（1）	不可（0）
プレゼンテーション	「優」の評価に加え、考察がしっかりとされており、発表内容に説得力がある。	「良」の評価に加え、表情が豊かで視線も聴衆に向けられており、聴衆を引き付ける工夫がなされている。	発表は、指定時間の7割以上を使い、かつ時間内に収まっており、声量も十分である。また、スライド等には適切な分量の情報が見やすく記載されている。	以下のいずれかに該当している。 ・発表が、指定時間の7割に達していない。 ・声量が不十分。 ・スライド等の情報量が不十分、またはフォントやデザインが不適切で見づらい。	プレゼン未実施、または以下のすべてに該当している。 ・発表が、指定時間の7割に達していない。 ・声量が不十分。 ・スライド等の情報量が不十分、またはフォントやデザインが不適切で見づらい。